

自然豊かな東京のまち八王子

東京都内では奥多摩町に次いで、二番目の広さをもつ八王子市。都心から西へ約40キロに位置するまちである。東京在住ではない人たちにとっては、八王子の地名は知っていても東京都内にあるまち、ということを知らない人もいるのではないだろうか。昔から八王子に在住している人の中には都心に出かける際、「東京に行ってくる」という人も少なくないとも聞く。

そんな八王子はどのようなまちか。立地的に山が多く、耕作地が少なかったため、古くから地元農家の人々は養蚕や織物にも力を注いできた。江戸時代に入り、幕府により江戸の西方面の防衛や交通の要衝として八王子宿が整備されたため、八王子は絹産業を中心に、甲州道中最大の宿場町へと発展していき、桑都と称されるまでになった。

ミシュランが選ぶ三ツ星観光地である高尾山も八王子市。子供から年配の人まで気軽に山登りを楽しめる首都圏を代表する観光スポットである。この高尾山のほか日本100名城である八王子城跡や火渡り祭など八王子の29の文化財の歴史や文化のストーリー「霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」は文化庁から一昨年6月、東京では初めて「日本遺産」にも認定された。

都心と比較して夏は暑く、冬は寒く、都心へ通勤するには少し不便な面もあるが、ショッピングや娯楽などは地元で完結するまち。独自の文化を築いてきたこともあってか、八王子市民の地元愛は強く、大人になっても住み続ける人は多いという。コロナ禍にあって、テレワークなどライフスタイルが変化している中、東京でも住まいの在り方は変わりつつある。テレワークが進む中、「海の近くに住みたい」という昔からの思いをかなえて、都心から湘南などに移り住んだ人も多らしい。東京にあって、自然豊かで都心からほどよい距離にある八王子、最近では高尾山近くへの移住の下見を兼ねた宿泊客もいるという。

東京新聞（中日新聞東京本社） 広告二部次長 佐橋俊彦



多摩地域最大の人口を擁する八王子市の中心駅・八王子駅



首都圏を代表する観光スポット『高尾山』からの眺め